さんないまるやま　つうしん

三内丸山通信

第79号

令和５年12月21日

三内丸山遺跡センター
〒038-0031 青森市三内字丸山 305
TEL（017）781-6078 FAX（017）781-6103
URL https://sannaimaruyama.pref.aomori.jp/

三内丸山遺跡センター公式SNS投稿中！
Instagram　Twitter　Facebook　Youtube

今年度の発掘調査終了！

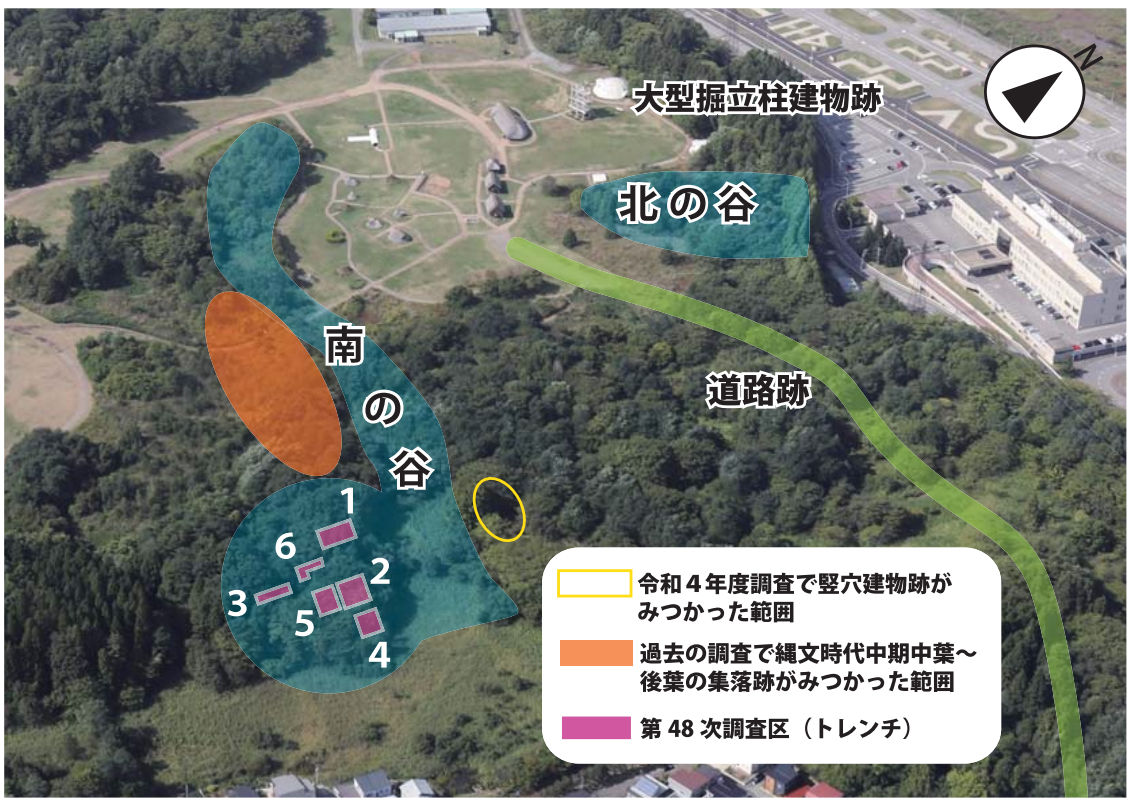
三内丸山遺跡では、集落の全体像解明と遺跡の保存・活用を進めるため、毎年発掘調査を行っています。

令和５年度は、南地区東側で第48次調査を６月１日～10月31日に実施しました。

第48次調査の成果

第48次調査は南地区の集落が、東側へどのように広がっているのか、１～６トレンチの６箇所で調査を行いました。

１トレンチでは縄文時代中期中葉～後葉（５，０００～４，４００年前頃）と考えられる竪穴建物跡が１棟みつかりました。この竪穴建物跡では、踏みしめられて硬くなった床面が確認されました。



【第48次調査位置】

【竪穴建物跡（１トレンチ・赤色点線は床面の硬い範囲）】

２トレンチでは昨年度の調査で土坑墓と考えられる痕跡がみつかりましたが、今年度の調査によって樹木が倒れた痕跡の可能性が高いことがわかりました。

４トレンチでは縄文時代後期前葉（４，０００年前頃）と考えられる遺物が出土しており、この周辺では大きな集落が営まれた縄文時代中期中葉～後葉以降の人々が生活していたと考えられます。

５トレンチで縄文時代晩期前葉（３，０００年前頃）と考えられる竪穴建物跡が１棟とフラスコ状土坑（貯蔵穴）がみつかりました。その竪穴建物跡の床面で火を焚いた地床炉（じしょうろ）が発見されたほか、平安時代以降と考えられる竪穴建物跡が１棟みつかっています。

【５トレンチ出土土器（縄文時代晩期）】

【竪穴建物跡（５トレンチ・赤色は地床炉の範囲）】

今年度の発掘調査成果については、令和６年３月の「特別史跡三内丸山遺跡報告会」、「さんまる速報展！２０２３」にて報告する予定です。

企画展「さんまる北側・新発見」開催中！

この企画展では、平成24（2012）年度から令和３（2021）年度に行われた遺跡北側の最新の調査成果について紹介しています。

同時開催の収蔵品展「あらたにわかった三内丸山遺跡の出土品」では、発掘調査報告書刊行後の分析や整理作業で得られた成果について紹介しています。

会　　場：三内丸山遺跡センター企画展示室
会　　期：令和５年10月28日（土）～令和６年３月10日（日）
観覧時間：午前９時～午後５時
　　※入場は閉館の30分前まで
休 館 日：毎月第４月曜日、12月30日（土）～１月１日（月）
観 覧 料：遺跡を含む常設展観覧料で観覧できます。

【盛土出土土偶】

三内丸山遺跡公式ホームページ　　子ども向けのホームページ

特別展「三内丸山と漆 ―くらしを彩る技―」を開催

7月21日から9月18日まで、特別展「三内丸山と漆―くらしを彩る技―」を開催しました。

この特別展では、三内丸山遺跡をはじめとする縄文遺跡から出土した漆製品や製作に関する道具など約200点を展示し、縄文時代の漆製品の特徴や漆利用の技術などについて紹介しました。

来場者は、漆で彩られた土器や装飾品、漆を精製するために使われた道具などを興味深そうに観覧されていました。中でも野辺地町の向田(18)遺跡から出土した木胎漆器（漆塗りの木製の容器）の前ではその美しさや技術力の高さに感嘆していました。

また、特別展のギャラリートークや関連講座、ものづくり体験を実施し、多くの方々にご参加いただきました。

【展示の様子】

「さんまるの食を体験しよう」を実施

10月16日(月)に「さんまるの食を体験しよう」を外国から来た来場者を対象に実施しました。

内容は、縄文服の着用、自然礫(れき)を用いたクルミの殻割り体験、堅果類の重さの体感、くさびを用いた薪割り体験、そして、礫石器・石皿・磨製石斧等に触れるなどの、三内丸山遺跡の食事に関する道具を使った体験をしてもらいました。

【薪割り体験】

「さんまるJOMONの日」を開催！

9月16日(土)から18日(月・祝)まで、「さんまるJOMONの日」を開催し、3日間で8，700人の方に来館いただきました。ありがとうございました！

恒例の「発掘ひろば」、「縄文パノラマビュー!!」などのイベントのほか、年に一度の「さんまるじょもりんぴっく」を開催！また県内各地のゆるキャラたちが三内丸山遺跡に集結し、イベントに参加した方々と触れ合いました。

令和6年2月3日(土)、4日(日)には、三内丸山縄文冬祭りの開催を予定していますので、皆様ぜひお楽しみに！

【じょうもん○×クイズ
withマスコットキャラクターの様子】

「縄文のムラづくり体験」を実施

「縄文のムラづくり体験」では、8月から11月にかけて、遺跡内にある樹皮葺き屋根の竪穴建物1棟の解体・組立体験を6回に渡って行いました。

20名の参加者は、竪穴建物の構造や使われている材料について学びながら解体を行い、解体後はまた元通りに組立を行うことで、縄文人の知恵や技術に触れていただきました。そして、足かけ4ヶ月に及ぶ長い体験の最後、11月3日には見事に竪穴建物を完成させることができました。

完成した竪穴建物は屋根の樹皮を新しいものに替えたため、樹皮葺きの他の2棟とは雰囲気が異なります。遺跡を訪れた際には参加者が協力して完成させた竪穴建物にぜひご注目ください。

【組立体験の様子】

子どもの墓覆屋のリニューアル工事

縄文時代のムラのたたずまいを体感・体験できる場として、史跡整備を実施しています。令和5年度は、遺跡の西側を巡る急傾斜地の自然崩壊を防止する補強工事を実施しています。このほか、実物の遺構を保護しながら見学していただく覆屋の老朽化が進んでいることから、リニューアル工事を予定しています。新施設では、壁の断熱性能を向上させ、遺構の保存と快適な見学に適した環境へと改善を図る予定です。なお、現在公開している覆屋のうち、子どもの墓は令和6年1月から撤去工事を開始する予定で、工事期間中は遺構の見学ができなくなりますが、ご理解の程、よろしくお願いします。

【子どもの墓覆屋】

世界遺産でパシャッ！

北海道・北東北の縄文遺跡群 縄文フォトコンテスト2023開催中！

三内丸山遺跡を中核とする世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」では、現在フォトコンテストを開催中です。

「私の好きな縄文」をテーマに、縄文遺跡群で過ごしたひとときやそこで見た景色、思い出のワンシーンなど、遺跡やガイダンス施設で撮影したさまざまな写真を募集しています。

入賞者には、縄文遺跡群グッズ詰め合わせやオリジナルQUOカードなど豪華賞品をプレゼントします。

複数の遺跡に応募可能ですので、この機会に縄文遺跡群を巡り、写真を撮ってみましょう。

応募〆切：令和6年1月12日(金)